

株式会社ナッセサリーが国東町で無農薬野菜を生産

農産物の生産・販売をする株式会社ナッセサリー（新居昭寅社長、本社大阪府八尾市）が、国東町北江で農薬・化学肥料を使用しない安全・安心野菜の生産・販売を開始することとなりました。

同社は、特定法人貸付事業により地元から農地を借り入れ、微生物培養液を使用した無農薬・無化学肥料による、ほうれん草やレタス・キャベツなどの10品目の有機野菜の生産・販売に取り組むこととしています。

地元から常時12人、臨時624人（のべ人数）を雇用して当初3haの作付けを行い、順次拡大していく予定です。

3月28日（金）に県庁で行われた農場建設協定書調印式では、高山精二県農林水産部長の立会いのもと、野田侃生市長と新居社長が協定書に署名し調印しました。



▲調印後に握手する（左から）野田市長、新居社長、高山部長

新・国東高校竣工式



▲校名板を取り付ける広瀬勝貞県知事（右）と吉崎正利校長

国東農工、国東及び双国高等学校が発展的に統合して、新たに総合選択制高校として4月に開校する国東高等学校の施設が国東農工高等学校の敷地内に完成し、3月28日（金）午前10時から、竣工式が行われました。

今回完成したのは、管理棟、普通教室棟、体育施設（第2体育館、弓道場、テニスコート）等で、第2体育館で行われた式には、県、学校関係者や在校生（国東、国東農工高校生徒）、入学予定者ら約200人が参加し、施設の完成を祝いました。



▲式修了後、校舎見学会が行われました

小原小と豊崎小で森林環境学習

2月27日（水）午前10時40分から、小原小学校の6年生16人が、大分県緑化推進センターの竹内邦夫課長を講師に、森林の働きについての学習をした後、校庭の木にネームプレートをつけて、森林や環境に対する理解を深めました。

この事業は、大分県が森林環境税を活用して「森のなかよし小路づくり推進事業」として実施しました。

また、2月29日（金）には豊崎小学校でも全校児童26人の皆さんが学習しました。



▲小原小でのようす